

その他の映画・演劇業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物(小)	事故の型	労働者規模
2017	4	13~14	マジックショーで剣の箱に入る際に、入り方が悪かったので入りなおそうとして、手で支えて出ていこうとしたが、その時、体重が手にかかり、左手親指が変に曲がり、左手親指を負傷した。	27	379	19	1000~9999
2017	4	6~7	機材室にて照明機材を持ち上げていた時、腰に衝撃を受け動けなくなった（照明機材10kg程）。	20	611	19	10~29
2017	5	15~16	資材等の不足分をロッカーに確認しに行こうとしたところ、段差に躓き転んだ。その際、体の前面を打ち、右胸を負傷した。	49	413	2	1000~9999
2017	7	15~16	当社店舗セルフレジ横において、セルフレジアテンダント業務中に、カウンター横のペットボトルケースに躓き転倒し負傷した。	27	611	4	50~99
2017	7	8~9	事業所の倉庫内において、エンジンチェンソーの清掃で使用したエアダスターを片付けるためホースを巻き取っているとき、ホースに添えていた手を離してしまったことにより、ホース先端のノズルが左目に当たってしまった。その後すぐに左顔面が腫れ上がり、左目より出血した。	39	419	8	1~9
2017	7	10~11	オペラ劇場にて照明のシュートという作業の準備をしているときに、パネルがひっかかり倒れその前にあったスピーカーも倒れて被災者が下じきになり足を骨折。	56	391	5	10~29
2017	9	11~12	当社機材置場に於いて、舞台等で使用する照明器具を吊るす鉄骨性の器具を整理作業中、当社社長が運転するフォークリフトの左前輪	52	222	6	1~9

			が被災者の右足に乗り上げ、右足小指中指を受傷したものである。				
2017	11	10～ 11	学校給食共同調理場調理室で、釜で肉を炒めていた時、釜の奥の方の肉を炒めるのに、スパテラを使い身を乗り出した時、釜の側面に右大腿が当たってしまい、火傷した。右大腿第2度熱傷と診断された。	33	391	11	50～ 99
2017	12	2～3	初日仕込途中に、4段イントレの足場のパイプから1.5mパイプを伸ばして幕をかける作業中に、ジョイントピンからパイプが抜けて、職人が下に転落し、その衝撃で右肩を右足首を骨折し、全治1か月から2か月の入院治療となった。	44	411	1	1～9
2017	12	17～18	位置決め中、ステージの張り出し部でセット転換時に下手側開口部に気付かず足を踏み外し後ろ向きに転落し、約1.5m下の鉄柵に左足首を打ちつけた。後日、精密検査の結果、左足首にひびがはいっていると診断された。	19	419	1	10～ 29
2017	12	20～21	スタジオ倉庫で、高さ50cm程の脚立に乗り、棚から機材（2～3kg程度）を下ろしていたところ、脚立から足を踏み外し落下した。	22	371	1	50～ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_06.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html)